

投稿

これでいいのでしょうか？

元事務局 三 村 俊 英

現在の年会費は 20000 円となつていますが、この会費、皆さんは納入していますか？

令和 2 年度の会計報告では、

収入予算額 100 万円に対し、決算額は約 70 万円です。7 割の方が納めていただいているように見えますが、現在の会員数（卒業者数）は 1 万人以上はいるはずです。

全員会費を納入すれば 200 人 × 40 = 8000 人です。8000 人が 20000 円を納めれば、160 万円になるはずです。会費は、卒業生が何人いても 1 世帯当たり 20000 円ですから、全世帯に 2 人いたとしても、少なくとも 80 万円にはなるはずです。つまり、会費を納入している会員の数は 1 割にも満たないという事です。

会費納入額の減少については、役員会で何度も検討を重ね、口座自動振替を導入するとともに、会報に広告を掲載させていただいて

その広告料をいただくことや、P

T A の皆さんの理解をいただき、在校生各学年からの会費の納入も導入してきました。これは、本校

同窓会に限らず、他校においても同様の対策が採られていることであります。しかし、これで良い

のでしょうか。在校生から会費を集めますと良いとしても、その金額は一般会員の会費収入合計よりもはるかに多いのが実状です。これまで同窓会が在校生の活動を助成したと言えるのでしょうか。一般会員の皆さんのが会費納入を何としてもお願いしたいところです。

たとえば、運動部でマイクロバスが欲しいとしても、それをまかなえるほどの財力は無いのが現状なのです。頼りにされないような同窓会になってしまいたくないと思ふのは、私だけではないと思うのですが、いかがでしょうか。

日頃の考え方を思うまま、現状に一石を投じるつもりで書きました。反響のあることを期待してペンを置きます。

編集後記

○「青春って、凄く密なので」コロナ禍で制限ばかりの学生生活を送つて来られた生徒の皆さんに心からエールを送りたいと思います。

△卒業して 36 年が経ちますが、当時の親しい仲間 8 人で酒を呑んでは楽しい事、苦しい事を話題にしては明日の活力に変え孫に逢う年齢になった。

◇山に里に今年の紅葉、それはそれは綺麗でしたね！事務局のご尽力があり 33 号会報出来上りました。

△「いつまで続く、日々過剰なストレスを課している自虐モードのコロナ禍！一日も早く日常の活気が戻ることを願っています！」

△短歌になつてる？

「イベント無き穴埋め記事に四苦八苦日常復帰に水差す第 8 波」

編集委員

赤羽 敬子
有賀 澄子
小松 昌和
野口 嘉由



特定建設業

株式会社 米窪組

「社員の子育て応援宣言」登録事業所
「消防団協力事業所」認定事業所

長野県塩尻市堀ノ内 125 番地
TEL 0263(52)0970
FAX 0263(54)1805

代表 小林秀行
Kobayashi Hideyuki
一級建築士
(昭和 50 年 3 月卒業)

K Architects LLC
一級建築士事務所 ケイアーキテクツ合同会社
〒390-0811
長野県松本市中央 4-5-35 銚物会館 2F
tel/0263-33-1070・fax/0263-33-1065
携帯/090-2737-2652
mail/k-ba@orange.plala.or.jp
<http://www.k-archi.biz>